

4月 水稻生産情報

令和6年4月
J A つがる弘前
岩木地区営農係

今年は積雪が多いことから、播種後速やかに置床できるように苗代・育苗ハウスの消雪を急ぎましょう。
浸漬中は温度管理に注意しながら、こまめな水の入替えを行い田植えに向けて強い苗づくりの準備を行いましょう。

これからの管理作業（5月20日田植の場合）

1、浸漬（3月31日～4月13日頃）

「はれわたり」は他品種に比べ、浸漬する水温が低かったり、浸漬日数が短いと発芽しにくい品種です。浸漬中の水温は10℃を下回らないよう注意しましょう。

浸漬期間は平均水温の積算で100℃以上を目安としましょう。（10～14日程度）

2、催芽（4月14日頃）

催芽の温度は30～32℃で16～20時間程度行い、種籾がハト胸状態になったら終了しましょう。

【注意点】・40℃以上になると発芽能力が低下します。・芽の伸ばしすぎは芽の欠けを助長します。
・ハト胸状態になったら冷水につけて種籾袋内部の熱をとり根の伸びすぎを抑えましょう。

3、播種（4月15日頃）

催芽籾は1箱当たり120gを目安に播種しましょう。厚播きは、徒長苗やムレ苗の原因となります。

4、育苗期間中の管理（4月15日頃から）

温度管理 晴れの日には苗代やハウス内の温度はすぐに上昇します。こまめな換気に努めましょう。



ハト胸（催芽完了）



伸ばし過ぎ



出芽期	<ハウス育苗> シルバーポリトウ等の平張り被覆は、5mm程度の出芽が7～8割確認したら取り除きましょう。 <折衷苗代> 置床は耳たぶ程度の硬さとしましょう。柔らかすぎると過湿になりやすく、出芽不良の原因となります。 ハウス、苗代の内部が高温になる場合は、出芽前でも換気を行いましょう。
～1.5 葉期	高温・過湿の条件下で苗立枯病が発生しやすくなります。細やかな温度管理を行いましょう。 苗立枯れ病が発生した場合、ナエファインフロアブル1,000倍液を箱当たり500cc灌注しましょう。 ナエファインフロアブルの年間使用回数は2回以内です。使用回数に注意しましょう。
1.5～3.0 葉期	1.5～3.0 葉期は苗が伸びやすい時期です。高温に注意すると共に、育苗箱の水分を確認し、葉先が巻き始めた頃、朝方にたっぷりかん水しましょう。 葉色が淡くなった場合、硫安を1箱当たり現物で5gを500ccの水に溶かし灌水しましょう。追肥は灌水前に行い、追肥後は必ず水洗いを行いましょう。
3.0～3.5 葉期	霜が降りる時以外は外気に慣らして、苗を硬く丈夫に育てましょう。 田植え5日前くらいから、日中は全面開放し、夜間は上部のみ被覆し、両裾は開放しましょう。

生育期間ごとのポイント 4月中旬頃には育苗箱の準備や本田の施肥も計画的に行いましょう。

床土の準備	床土		資材名		箱当り 使用量	製品1袋(本) 当りの箱数
	山土	サイコー11号			20g	5kg当り250箱
		灌注		とかすだけ	19.2g	10kg当り520箱
		どちらか	土壌混和	ナエファイン粉剤	8g	1kg当り125箱
			播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000倍液 1L	100ml当り200箱
	人工培土	無肥料培土		肥料が入ってません。上記のようにサイコー11号を施用しましょう。	床土2.7kg 覆土0.8kg	20kg当り約5.7箱
		軽量培土			床土1.0kg 覆土0.75kg	20kg当り約11箱
		苗の土			床土2.1kg 覆土1.2kg	20kg当り約6箱
		どちらか	土壌混和	ナエファイン粉剤	6g	1kg当り166箱
			播種時灌注	ナエファインフロアブル	2000倍液 1L	100ml当り200箱

施肥法	品名	袋数 (10a)
基肥	つがるロマン	3.5袋
	有機化成エコ米	3.5袋
	マップ264号	2.9袋
	高度化成オール14	2.5袋
全量基肥	ニューてまいらず	4.5袋
	水稻春一発	4.5袋
	一発あど楽	2.3袋
ケイ酸質資材	軽がる一発	2.3袋
	混合りん肥新3号	5～10袋

はれわたり・まっしぐらの施肥量は同等です。